

Dance Dance Dance

ダンス

ダンス

ダンス



WDSF公認

第19回東京オープンダンススポーツ選手権

第2回全日本シニア10ダンス選手権

茨城県ダンススポーツ連盟35周年記念式典



公益社団法人
日本ダンススポーツ連盟
Japan DanceSport Federation

2017 No. 83



BD[®] DANCE

世界中のダンサーに愛される 今大人気のブランド

BD Dance シューズ

豊富なデザイン

フィット感



リーズナブルプライス

耐久性

激しい練習

クッション性



スタンダードチャンピオン
シモーネ&アネッタ

ショーダンスラテンチャンピオン
シミット&エレナ

JDSF会員様限定 常時特別価格にて販売中!!

チョイスダンスショップ

171-0022

東京都豊島区南池袋2-26-7 城北ビル7階

TEL. 03-3980-5559

【営業時間】 11:00~19:00

チョイス・ロンドン・ジャパン

検索



ニュージェネレーションダンス本部の活動



公益社団法人日本ダンススポーツ連盟 (JDSF)
業務執行理事 **秋田ゆき子**
(ニュージェネレーションダンス本部長)

2015年6月の総会で、業務執行理事に就任しました秋田ゆき子です。よろしくお願ひ申し上げます。今までダンス開発本部長として活動してまいりましたが、ダンス開発本部は2017年1月からニュージェネレーションダンス本部に改名することになりました。日本のダンススポーツを統括するJDSFでは、スタンダード5種目・ラテン5種目の競技ダンスに加え、若者に人気の様々なダンス種目との密接な連携をはかり、幅広く活躍し楽しめる会員を増やすべく活動しています。

ニュージェネレーションダンス本部は5つの部で構成されており、とにかくダンスの楽しさを知ってもらうために、いろいろな企画を考え活動しております。

イベントプロモーション部では若手学連OBOGの練習会&ミニコンペなどを定期的に開催しており、大学卒業後も相手がいなくてもダンスを楽しめる場を設けるなど工夫して実施、そしてダンススポーツアンバサダーとしてダンス普及のための出演などを企画しています。多くの方々にダンスを知ってもらうためには、どんどんダンスを見てもらう機会を作ることだと考えています。



イベントプロモーション部
若手学連OBOG



イベントプロモーション部 アンバサダー

マネジメント部では主にブルボンダンススポーツチーム (ブルボンDST) 所属選手のスケジュール管理、成績管理を行っております。今期は、渡辺安登・石垣真衣／濱田琉衣・稲村百香／五月女光政・五月女睿佳の3組でスタートいたします。ダンス技術はもちろんですが、それだけではなくスポーツマンとして挨拶や感謝の気持ちを持つ選手として活躍できるようお手伝いさせていただきます。ブルボンDST所属選手のデモのご依頼その他ご意見やご連絡などお待ちしております。



マネジメント部 ブルボンDST

エンターテインメントダンス部は第36回 三笠宮杯と第19回 東京オープンで、グランドセレモニーオープニングのショーを作るなど、色々なジャンルのダンスを楽しむ方もJDSFの会員として迎え、ダンスの楽しさだけで

はなく、ダンスによって感動させられるようなエンターテインメントを主に活動していきます。ダンスの発表は自己満足になりがちなのですが、老若男女問わず笑顔になって一緒に踊りたいと思えるような、そんなダンスが披露できるように活動していきたいとスタートしています。振付や構成に興味がある方はとても楽しんで活動ができる部だと思います。

アクロバットロックンロール部のダンスは、リズムカルな音楽に合わせて、舞踏とアクロバットの要素を統合したスポーツです。WRR (世界ロックンロール協会) はWDSF (世界ダンススポーツ連盟) の一員 (Associate Member) として活動しており、さらに日本での普及が期待されます。

2016年にJDSFが世界ロックンロール連盟に加盟したことをきっかけとして設置されました。2014年にロシアアクロバットロックンロール連盟の指導と支援により我が国への普及が図られ、2015年には、東海大学のペアが世界大会に参加しました。

そして最後に、**ブレイクダンス部**についてですが、

2016年12月に舞い込んだユース五輪にブレイクダンスがダンススポーツとして採用されたとの喜ばしい衝撃ニュースを受け、2018年10月にブエノスアイレス (アルゼンチン) にて開催されるユース五輪に、何とか日本からブレイクダンスの選手を派遣できないか、また日本でブレイクダンスが盛り上がる機会になるのではないかと、2017年2月にはニュージェネレーションダンス本部の中にブレイクダンス部を設置いたしました。

ブレイクダンスに関しては本当にたくさんの方々のご協力やご紹介もあり、少しずつブレイクダンス界の方々と知り合うことができ、ユース五輪のブレイクダンスという種目を盛大に成功させようとの思いを一つにブレイクダンス関係者が集まり、次世代を担う子どもたちに活躍してほしいと願ひ活動を開始いたしました。

ニュージェネレーションダンス本部では小さい子でもわかりやすい表現を心がけ、楽しくダンスができるような環境づくりを目指し、生活の一部として音楽があり、音楽やリズムのあるところにはダンスがある陽気な世界観を作り上げていけるように活動をしていきます。

また、一緒にニュージェネレーションダンス本部を運営してもらっている各部の部長はじめ部員は、現役の指導者やダンサーをメインに構成していますが、関わるすべての人がホームタウンと感じ、嬉しい時、苦しい時、悲しい時、踊りたい時に、会いに行きたくなるお母さん・お兄さん・お姉さんのような存在であってほしいと願ひます。



ブレイクダンス部 東京オープングランドセレモニーオープニング



エンターテインメントダンス部 東京オープングランドセレモニーオープニング

「JDSF認定ダンス教室」の発表会開催

去る3月27日（月）、東京都江東区のJDSF有明事務所会議室にて、松山光男ボールルームダンス本部副部長（ダンス教室事業推進部長）より発表会が開催され、下記内容について説明がありました。

松山光男ボールルーム
ダンス本部副部長



◆公益社団法人日本ダンススポーツ連盟（JDSF）認定ダンス教室

ダンス教室を経営する多くの会員が入会をした事によりダンス教室事業推進の一環として「認定ダンス教室」を設けました。認定ダンス教室のメリットは下記のとおりです。

1. 公式認定ダンス教室プレート貸与による品質公示
2. 共通ダンスカリキュラムの提供
3. 各種集客キャンペーンの展開
4. JDSF ホームページでの認定ダンス教室紹介
5. JDSF 会員への周知
6. 教室近代化情報とフロア有効利用サービスシステム
7. JDSF 技術認定アマルガメーションの指導
8. JASRAC 音楽著作物申請サポート

その他、コンサルティング業務などがあります。



◆認定ダンス教室に加盟するには

- 1) 所定の品質があると認められた教室は認定ダンス教室として登録が出来ます
- 2) JDSF 会員は登録無料
- 3) 一般の場合2017 年度末まで無料キャンペーン期間中
（但しモニタリングとしての審査有り、次年度より年会費¥2,000-納付）
- 4) 別途申請書にて随時受付中です。

●問合せ先

認定ダンス教室の申請やモニタリングの申請またPD 会員登録などの問合せは下記のメールアドレス又はFAX にてお願いします。

★JDSF/PD事務局：pdoffice.jdsf@gmail.com FAX 専用 0422-46-1130

注：PD会員を対象としてだけではなくJDSF甲種特定指導員においても、従来よりダンス活動のスペースを有している場合、「JDSF認定ダンス教室」制度の対象となります。ただし、サークル等の公的なスペースや商業的スペースを借りてダンス活動を行っている甲種特定指導員は、この限りでは有りません。

比嘉和雄会長が沖縄県体育協会よりスポーツ功労賞を受賞

平成29年1月20日、沖縄県ダンススポーツ連盟の比嘉和雄会長が、「県内のダンススポーツ愛好者を結集する沖縄県ダンススポーツ連盟の第2期会長として平成18年から11年間にわたりその重責を果たした」として沖縄県体育協会よりスポーツ功労賞を受賞しました。比嘉会長のほかスポーツ功労賞の受賞者は、水泳連盟やサッカー協会などから計11名でしたが、その他、優秀競技者賞受賞者27名、優秀チーム賞3チーム、優秀指導者賞8名を代表して受賞へのお礼と喜びのあいさつをされました。



『ワールドゲームズフォーラム2017』開催

2017年3月8日(水)／日本財団ビル

主催：特定非営利活動法人日本ワールドゲームズ協会（JWGA）
後援：スポーツ庁・公益財団法人日本オリンピック委員会・公益財団法人日本体育協会



小野清子 JWGA 会長



鈴木大地 スポーツ庁長官

今夏7月20日から30日まで、ポーランド共和国・ヴロツワフ市で「第10回ワールドゲームズ大会」が開催されます。

ワールドゲームズとは“第2のオリンピック”ともいわれる国際総合競技大会です。国際ワールドゲームズ協会（IWGA）が主催し、国際オリンピック委員会（IOC）が後援する4年に一度の複合競技大会です。WDSF（世界ダンススポーツ連盟）ルーカス・ヒンダー会長はIWGAの財務担当理事も務めています。

過去、ワールドゲームズ競技からバドミントン、野球、ソフトボール、テコンドー、ビーチバレーボール、女子ウエイトリフティング、トライアスロン、7人制ラグビーがオリンピック種目に採用されました。2020年東京オリ

ンピック・パラリンピック競技大会においても、ソフトボール、空手、サーフィン、スポーツクライミング、ローラースポーツ（スケートボード）の5競技は全てワールドゲームズから選ばれた競技です。

この夏の「第10回ワールドゲームズ大会」の熱戦を前に日本財団ビルにおいて3月8日（水）、「ワールドゲームズフォーラム2017」が開催されました。

日本ワールドゲームズ協会（JWGA）の小野清子会長（JDSF名誉会長）が挨拶をされた後、鈴木大地スポーツ庁長官は、“スポーツの価値を高めるために～スポーツが変える。未来を創る。～”と題して特別講演があり、「ワールドゲームズは準オリンピックであり予算も付け精一杯応援している。スポーツは未来を創る。スポーツを通して人生が変わる、スポーツは社会を変える、スポーツで世界と繋がる。ワールドゲームズでオリンピックへ!!」と話されました。続いてIWGA理事を務める師岡文男JWGA理事からは、「ワールドゲームズの現状と未来について」と題して講演がありました。その他「世界のスポーツマーケティングの現状について」の講演やパネルディスカッション「日本のスポーツとワールドゲームズの未来について」などが行われました。



2017年
ワールドゲームズ・
ヴロツワフ大会
日本代表



ラテン：藤井創太・吉川あみ組
（ブルボン／DST）



スタンダード：山本武志・山本友美組



フォーラムに参加した山本武志／山本友美組と吉川あみ選手（リーダーの藤井創太選手は学校の試験と重なり欠席しました）

ワールドゲームズは過去に日本では、秋田県において2001年8月16日(休)～26日(日)の11日間開催され、93の国と地域から4,054名の選手・役員が参加し、競技種目も過去最多の公式競技26公開競技5が実施され、大会期間秋田県の街はワールドゲームズ一色と言えるほど盛り上がり、観客数は30万人にも達しました。勿論、ダンススポーツ競技も公式競技として2日間にわたり秋田市立体育館で開催され、日本代表スタンダード天野博之・天野京子組、ラテン石川浩之・菅野純代組なども出場し、熱き戦いが繰り広げられました。

WDSF公認 世界ランキングポイント取得対象競技会

第19回東京オープン・ダンススポーツ選手権

併催競技:WDSF PDスーパーグランプリ・スタンダード

U-23オールジャパン・ダンススポーツカップ スタンダード&ラテン

2017年3月12日(日)/東京体育館

東京オープンは、1999年より毎年春に開催されている我が国最大の国際競技会です。世界ダンススポーツ連盟(WDSF)公認の世界ランキングポイント取得大会に認定されている大会であり、世界のトップ選手が熱い闘いを繰り広げ、日本に居ながらにして世界の迫力を肌で感じることできる唯一の大会です。今大会からPD部門の大会も開催され世界トップレベルのアスリートの競技を堪能しようと早い時期に指定席券は完売となり、約7千人の観客で一杯となり館内は熱気溢れる大会となりました。

朝7時55分、居樹保朗実行委員長の開会宣言、続いて山口剛チェアパーソン(競技長)の諸注意があり8時から競技はスタートしました。グランドセレモニーは、入場行進、国旗掲揚、国歌斉唱の後、公益社団法人日本ダンススポーツ連盟(JDSF)を代表して齊藤斗志二会長は、ダンススポーツに多大なご支援を戴いていた昨年10月薨去された三笠宮殿下に心からのお悔やみを申し上げ、宮内庁より引続き三笠宮杯の冠(かんむり)の大会を継続す



齊藤斗志二JDSF会長

WDSFワールドオープン・スタンダード

前回のチャンピオンLiiv組が決勝入りも第6位というレベルの高い戦いとなりました。日本選手は小嶋みなと・盛田めぐみ組が唯一準決勝に進出、場内から惜しめない拍手、声援が送られました。大型海外選手の中にあっても特徴であるスピードに加えて緩急を使い分けた踊りで第11位と頑張りました。優勝は日本でもお馴染みのSimone組でした。

Simone Segatori & Annette Sudol 組 (ドイツ)



優勝



準優勝

Francesco Galuppo & Debora Pacini 組 (イタリア)



第3位

Bjorn Bitsch & Ashli Williamson 組 (デンマーク)



第4位

Anton Skuratov & Alena Uehlin 組 (ドイツ)



第5位

Pasquale Farina & Sofie Koborg 組 (デンマーク)



第6位

Andres Liiv & Kristin Vaha 組 (エストニア)

日本選手唯一準決勝入りを果たした

第11位 小嶋みなと・盛田めぐみ組 (神奈川県)

今日はかなり強い選手が多かったので、準決勝が今日の目標の一つでした。その中で見劣りしない踊りができるよう精一杯頑張りました。今年は海外で勝つことを目指して踊りを見直してきましたが、違いが見えていたら嬉しいです。今日はホームである日本の競技会ですので、観客の大きな応援をいただき大変力になりました。今年は国内のみならず海外でも活躍できるよう頑張っていきたいと思っています。





右から秋元司衆議員（ダンス文化推進議員連盟事務局長）、市原則之理事（元JOC副会長）ご夫妻、中森康弘JOC企画・広報部長ご夫妻

る許可を戴いたことを報告した後、「ルーカスWDSF新会長は、ダンススポーツをオリンピック正式種目実現に向け力強く推進する姿勢を明らかにしていることを心強く思います。さらに、来年ユースオリンピックではダンススポーツが正式競技となりブレイクダンス種目が開催される。若者のエネルギーを開催地ブエノスアイレスへ送ろうではありませんか！さらにスポーツ基本法に基づく“一億総スポーツ社会”



Michael Eichert
WDSF副会長

の実現を目指しましょう！」と挨拶され、秋元司衆議員（ダンス文化推進議員連盟事務局長）そして中森康弘日本オリンピック委員会（JOC）企画・広報部長を紹介されました。続いて、Michael

Eichert WDSF副会長の挨拶があり「日本ダンススポーツ連盟を高く評価している」と挨拶されました。居樹保朗実行委員長は、「朝早くから観客席が埋まっていき、セレモニーの時は最高潮に達し皆様に感動を与えることができたのではと喜んでおります。これを糧に、ダンスのすそ野が広がり若い人たちも楽しめるダンスがどんどん普及することを祈念しています」と感激の面持ちで話していました。



居樹保朗大会実行委員長
（東京都DS連盟会長）

WDSFワールドオープン・ラテン

前日の指導員コンGRESではWDSF教本に沿った指導内容で好評を博しましたが、今日は、質の高いリズムとそれにマッチしたムーブメント、素晴らしいコレオグラフィで見事に音楽を表現した踊りで5種目に最高点を出したGoffredo組が圧勝しました。



Marius-Andrei Balan &
Khrystyna Moshenska 組（ドイツ）

準優勝



Gabriele Goffredo & Anna Matus 組（モルドバ）

優勝



Andrea Silvestri &
Varadi Martina 組（ハンガリー）

第3位



Malthe Brinch Rohde &
Sandra Sorensen 組（デンマーク）

第4位



Vito Coppola &
Kristina Garifullina 組（イタリア）

第5位



Nikolaj Lund &
Marta Kocik 組（デンマーク）

第6位

活躍した日本の選手



菅原一樹・Laura Collavizza 組
（東京都）
St第13位 La第17位



八谷和樹・皆川 円 組
（千葉県・岩手県）
St第16位 La第13位



藤井創太・吉川あみ 組
（ブルボンDST / 千葉県・東京都）
St第17位 La第15位



大西大晶・大西咲菜 組
（ブルボンDST / 富山県）
St第18位 La第23位

WDSF PDスーパーグランプリ・スタンダード

JDSFとして初のPD国際大会となりました。日本の強化選手の指導や新WDSF教本のDVD撮りなどで何回も来日している親日派。そして、世界で、数々のコンペで優勝を重ねるBenedetto組が見事チャンピオンに輝きました。



表彰式



Benedetto Ferruggia & Claudia Koehler 組 (ドイツ)



Donatas Vezelis & Lina Chatkeviciute 組 (リトアニア)



Marco Camarlinghi & Martina Minasi 組 (イタリア)

日本選手最高位 第8位

オレクシー グザー・太田史圭子 組
スーパーグランプリはPDでは世界でも大きな競技会なので、8位という結果は上出来だったと思います。海外の選手は日本の観客は静かでお行儀が良いと言っていますが、今日は大勢の皆様がたくさん応援していただき気持ちよく踊れました。今年はまだ2回目の競技会ですが、これから国内のPDグランプリやジャーマンオープンなどに出場する予定です。



U-23オープンジャパン・ダンススポーツカップ スタンダード

五月女光政・五月女睿佳 組
(栃木県) 中2・小6

優勝できてすごく嬉しいです。ラテンで優勝を逃してしまいましたが、気持ちを切り替えてスタンダードに臨むことができました。今年は中3ですので進学のことを考えなくてはいいけないのですが、中高一貫校なのであまり考えなくてすみます。もっともっと練習して世界で活躍できる選手になりたいです。今年は8月のジャーマンオープンジュニアIIに出場する予定です。



優勝



表彰式

★グラントセレモニーではJDSFニュージェネレーションダンス本部が送る華やかなオープニングダンスショー、そして2018年ユースオリンピックのダンススポーツ競技に決定したブレイクダンス種目が披露されました。



JDSFニュージェネレーションダンス本部によりオーディションで選ばれた小学生から社会人によるオープニングダンス

U-23オープンジャパン・ダンススポーツカップ ラテン

大久保稔也・吉村春香 組
(東京都)

カップルを組んで1か月足らずで今日がデビュー戦でした。緊張していましたが優勝できてとても嬉しいです。リーダーはダンスを始めて12年目で、今は高校卒業後アルバイトをしながら玉置朝啓先生の指導の下ダンスの修行中です。パートナーは父母がダンス教師という環境の中でダンスを始め、宮岡先生の教室で指導を受けていますが、今年大学に入学する予定です。今夜からイタリアに出発し世界大会に臨みますが、海外を拠点にして活躍できたらと思っています。



優勝



表彰式



世界で活躍する日本選手によるブレイクダンス



ご来賓の
皆さま

(株)ブルボンの
ブース



優勝コメント

WDSFワールドオープン・ラテン

Gabriele Goffredo &

Anna Matus 組 (モルドバ)

日本での競技会は4回目ですがJDSF選手の指導やWDSF新教本の協力で何度も来日しています。私たちが観客に見ていただきたいのは一体感です。一体感をもってベストを尽くして踊ることで強さを表現するようにしています。そして何より2人でダンスを楽しむことを心掛けています。日本の

観客は温かく見ていただけるのでとても踊りやすいです。トレーニングではいつもテクニカル(技術的)とフィジカル(体力的)に分類し、分析しながら練習しています。毎回同じようには踊ることはしません。活動拠点はイタリアで、ダンスアカデミーで指導しています。

★日本の選手へのアドバイス

日本には才能のある良いダンサーがたくさんいますが、フィジカル面が弱いのでそれを改善すればもっと良くなると思います。

WDSFワールドオープン・スタンダード

Simone Segatori &

Annette Sudol 組 (ドイツ)



私たちは日本が大好きで日本に来られて大変嬉しいです。数年前は毎年のように日本の競技会に参加し皆様とも親しくなりました。日本の観客はとてもフレンドリーで温かく応援してくれ大変感激しています。観客が与えてくれるパワーでギアが入り、エネルギーになりダンスがよりエキサイティングになります。私たちは踊りにクラシカルな要素を取り入れ、あらゆるジャンルの人を魅了するダンスを目指しています。私たちにはミッションがあります。ダンスとは何か? どうあるべきか? 何のためにダンスをするのか? 皆さんに伝え指導していくべきことは何か? などを確かめています。若い世代の人達に何故私たちがこのようにしてきたのかを理解してほしいです。2005年にカップルを組み2014年に婚約をしています。

★日本の選手へのアドバイス

練習するときにテクニカルトレーニングとメカニカルトレーニングをミックスすること。ボディーのコンディショニングを良い状態に保ち、精神をコントロールしているようなエクササイズをすること。そのようにすれば肉体的にも精神的にもしっかりしたボディーができ、競技会への準備ができるでしょう。

WDSF PDスーパーグランプリ・スタンダード

Benedetto Ferruggia & Claudia Koehler 組 (ドイツ)

イタリアのダビデ・カチアリのデアプロアカデミーではメンタルトレーニングやテクニカルトレーニングを受けています。私たちが日本のコーチをしていることは世界中に知られるようになりました。アジアでは日本だけではなく、ヨーロッパではイタリアやドイツで指導をしています。目標は将来日本からも世界チャンピオンを生み出すことです。決して不可能なことではありません。日本では指導システムがまだ確立されていないと思い

ますが、フィジカル、メンタルとテクニカルの分野に確立していけば選手の上達に繋がります。

デアプロアカデミーではコーチでもあります。ダビデ・カチアリのレッスンも受けています。私は8歳の時にダビデ・カチアリの所で最初のステップを踏みました。今年の9月に私たちは結婚します。いずれ近い将来、家族ができるでしょうが、あと2・3年はさらに上達したダンスを皆さんにお見せできると思っています。



第24回全国公認指導員・審判員ダンススポーツコンGRESS

大会前日、東京体育館サブアリーナで開催されました。会場はPD部門100名を含む約300名が受講しました。

机上講座は「スポーツにおけるアマ・プロ問題とスポーツの指導を考える」というタイトルでダンス文化の発展に向けて佐伯年詩雄筑波大学名誉教授(日本ウエルネス大学教授)の講演です。佐伯先生は、スポーツ基本法制定にご尽力、2011年天皇・皇后両陛下ご臨席の下開催された日本体育協会・日本オリンピック委員会創立100周年記念の日本スポーツ宣言「21世紀におけるスポーツの使命」を起草されました。JDSFのPD部門発足にあたりアマチュアリズムの歴史的な検証から今日のスポーツ指導者のあり方等の解説がありました。後半は、スタンダードがベネデット組、ラテンがガブリエル組というWDSF最高峰の選手による実技講座で、WDSFはどのようにダンスを発展させてきたか。ウオーターレードの教本との違いも含めて解説があり、模範演技も披露されました。通訳はWDSF教本翻訳プロジェクトチームのPD会員岸本真氏が務めました。



(国際部 嶋田昌生)

今回の講習会の講師は、ベネデット組とガブリエル組。スタンダードとラテンの世界チャンピオンです。国際部の仕事は2組を羽田に迎

えて会場に無事お届けすることです。ところが世界を飛び回る彼らの到着便は前日の15時(日本の夜11時)、ドイツのミュンヘンを出発、12時間のフライトで、ドイツ時間では午前3時(日本の午前11時)に羽田到着。コンGRESS当日の朝、役員の方には万が一にもスタートに遅れないように言われており、無事定刻に着陸し、緊張が解けました。“Welcome to Tokyo!”さあタクシー乗り場に向かおうとしたら、4人が疲れた顔で一斉に「スタバに行きたい!」とドイツ時間の真夜中に起こされ、朝食もとらないで、朝の5時からレクチャーとなります。空港内にスタバは有りません。タクシーの運転手に頼み込んで、会場近くのスタバを探してもらいテイクアウト。道端でコーヒーとドーナツをほうばると元気モリモリ。2組の素晴らしいレクチャーと、しかも翌日の大会では2組とも見事優勝。ヨーロッパ選手の強さの秘密は、エスプレッソ味のスタバのコーヒーにあるようです。



ベネデット組、ガブリエル組と通訳の岸本真氏



講習風景

第2回 全日本シニア10ダンス選手権 第11回 京都府宇治ダンススポーツ競技会

(2017年世界シニア I 10ダンス・2017年世界シニア II 10ダンス日本代表選考会)

2017年1月15日(日)／京都市横大路運動公園体育館

全日本シニア10ダンス選手権にはエントリー 39組中36組が出場し、寒さを吹き飛ばす熱戦が展開され、優勝の名越組はオナーダンス2曲を含め42曲を踊り切りました。

大会前日の夜から京都は雪が降り始め、大会当日も雪は止まず積雪となりました。公共交通機関のタクシー会社も前日の15時から全く予約は受けないという事態で、



早朝から多忙を極めた大会会長。谷口主嘉京都府ダンススポーツ連盟会長

最寄駅のJR長岡京駅から体育館までの送迎マイクロバスもタイヤのチェーンの用意がなく、なんとか探して装着、選手集合場所に到着、選手にとっては厳しい寒さの中の大会となりました。大会役員も勿論です。大会会長を務める谷口主嘉京都府ダンススポーツ連盟

会長は「こんな大雪の大会は初めて。京都でも珍しい。早朝から問い合わせの対応に追われました。シニア10ダンスは毎年必ず出場したいと、シニア世代ながら、10種目を頑張って練習してきていること“体育館が閉鎖されない限り大会はやる”役員一同の団結と努力で、ほとんど欠場もなく15分開始時間が遅れたものの昼過ぎには取り返し、滞りなく終了できた」と安堵されていました。開会式では「京都の夜のライトアップは素晴らしい。お帰りには雪の京都をお楽しみください」と挨拶されました。



岡本洋一・小林八恵組による選手宣誓

シニア10ダンス

名越 慎悟・名越 明子 組(神奈川県)

「私たちは38歳と30歳のカップルです。優勝できて嬉しいです。ルーティンを新しくしたので少し緊張しました。世界のシニアは厳しいと聞いています。世界選手権ではなんとか決勝を目指して頑張ります！」



優勝



準優勝

森 晃士・森 仁美組(三重県)



3位

小池 越路・杉山 早苗組
(新潟県)



4位

櫛間 義則・林 深雪組
(京都府)



5位

佐藤 寿一・佐藤美奈子組
(岡山県)



6位

永井 孝明・永井 優子組
(京都府)



7位

藤田 洋一・寺川 秀代組
(京都府)

選手大集合！



全日本シニア10ダンス選手権

Kyoto
Dancesport
Federation

B級戦 スタンダード 表彰式



飛松 一幸・
好宮 博弥 組 (兵庫県)

優勝



B級戦 ラテン 表彰式



森 信樹・
森 さかき 組 (京都府)

優勝



★キラ星み～つけた!★

高尾莉心さん(宇治市)

第50回宇治市民総合体育大会のダンス競技会として宇治市体育協会後援で開催された、競技入門者向けの競技会、市民総体タンゴで山城廣行さんと組んで優勝しました。高尾莉心(りこ)さんは小学3年生。タンゴが大好き。練習は週2回。6年生までに10ダンスを踊れるように頑張ります。お祖母さんはダンスショップと練習場を経営。谷口主嘉・小夜子会長ご夫妻も利用しています。



お母さんと
お祖母さんも一緒



山城廣行・
高尾莉心組 (宇治市)



市民総体タンゴ表彰式

市民総体チャチャチャ、ルンバ両部門優勝
遠藤明美・遠藤美沙組。母・娘のカップルです。



市民総体チャチャチャ表彰式

マイドリーム (特別寄稿)

私たちは弁護士と公認会計士の夫婦 「細く、長く、楽しんで」

兵庫県ダンススポーツ連盟 伊加井義弘・真弓

時代が平成に変わる少し前、世の中はバブル景気に浮かっていた頃、神戸大学で私たちはダンススポーツに出会いました。神戸大学の競技ダンス部は、私たちがダンススポーツに出会った場所、そして二人が出会った場所でもあります。ちなみにリーダーの方が1年先輩です。

卒業してすぐに結婚して、子供が生まれてもずっとダンスを続けてきました。なので、もうダンスと出会って30年以上たっていることになります。その割に上達しないですが(ハハ；

結婚して二人でダンスを続けていくにあたり、カップルとしてのバランスが悪いので競技ではなくレッスンだけという選択肢もありましたが、競技から入ったということもあって、競技という目標があった方が頑張れるのではないかと思い、チャレンジすることにしました。弁護士と公認会計士の夫婦なので二人ともフルタイムで働いています。子供も二人います。そのうえ、趣味の宝塚鑑賞や海外旅行もあるので、時間がいくらあっても足りないというのが実際のところ。トップアマの方々のように毎日練習することもできませんし、頻繁にレッスンを受けることも

2017東京オープンにて



できません。週1回のレッスンと週1回の練習ができればいい方で、仕事が忙しい時期はそれさえもままなりません。

ところで、音楽に合わせて体を動かすのは人間の本能的なものだと思います。若いころは練習中によく喧嘩もしましたが、最近はめっきり減りました。人間として丸くなったのもあるけど、ダンスそのものの楽しさが、何十年も続けた末にやっとわかってきたように思います。トップ選手

として活躍したいわけではなく、人生のいろいろとして、ダンススポーツそのものを純粋に楽しみたい。こだわるのはスタンダードもラテンも両方均等に続けること、自分たちが楽しんでダンスをしているということを伝えること。太く短くではなく、細く長く現役としてダンススポーツを楽しみたいと思っています。



ジュニア・ユース アスリートクラブ活動報告

ジュニア育成部 副部長 渡辺 裕美

ジュニア選手がJDSFへの会員登録をする受け皿として、2012年1月に活動を開始しました。

現在は、子供たちに広くダンスを親しみ、競技を目指してもらうため、ジュニア競技会を目指すサークル会員やJDSF強化選手など、ジュニアからユースまでの幅広い年代の選手が登録しています。

ダンススポーツの技術だけでなく、社会的にも精神的にも立派なアスリートを育てることを目的として活動しております。

ジュニアアスリートクラブ表彰式

3月12日(日)、東京オープン・ダンススポーツ選手権にて、ジュニアアスリートクラブ優秀選手表彰式が行われました。2016年度の対象競技会のポイントにて

選考された上位20位までのカップルに、その栄誉を称え、発足当初より毎年表彰しております。

表彰では20組のジュニア選手がサンバを踊りながら登場。20組全員にJDSFより賞状と活動奨励金が授与され、スーパダンスジャパン株式会社よりダンスシューズ優待券とスーパダンス特製タオルがプレゼントされました。さらに最優秀選手の五月女光政・五月女睿佳組(栃木県)と太田歩・太田なごみ組(北海道)の二組にはスーパダンスジャパンのシューズがプレゼントされました。

最後に、全員でクイックステップを踊りながら退場し、会場内からは世界に羽ばたく若い選手達へ大きな拍手や声援が送られました。

ジュニアアスリートクラブ 優秀選手表彰

順位	リーダー名	パートナー名	所属県	所属サークル
1	五月女光政	五月女睿佳	栃木県	三鴨クラブ
2	太田 歩生	太田なごみ	北海道	シャルウィダンス札幌
3	濱田 琉光	増田 有咲	栃木県	木嶋クラブ
4	濱田 琉衣	稲村 百香	栃木県	木嶋クラブ(ブルボンDST)
5	石垣 和宏	中村 安里	千葉県	ダンスチームみやおか
6	安部 邦斗	安部 美咲	千葉県	ダンスチームみやおか
7	松浦 龍騎	松浦優莉華	宮城県	ジュニアダンススポーツクラブせんだい
8	太田 佳輝	那須野姫佳	長野県	キッズ向山スターズ
9	長谷川 悠	安達あん珠	富山県	かがやき生涯学習J教室
10	泰永 圭吾	小倉 里桜	群馬県	ステップクラブ
11	阿部 光樹	鈴木 未来	東京都	ジュニアアスリートクラブ
12	渡邊 俊介	和田 滯奈	千葉県	ダンスチームみやおか
13	上岡 裕人	中澤 葵	千葉県	ダンスチームみやおか
14	石垣 和宏	三喜穂菜美	千葉県	ダンスチームみやおか
15	川本 竜	川本 弥由	奈良県	ジュニアアスリートクラブ
16	前川 智之	山本 琴葉	東京都	ファミリア
17	井田 海飛	井田 真鈴	埼玉県	エンジェルキッズ
17	山本 一真	加納 杏那	愛知県	ジュニアアスリートクラブ
17	岡田 悠希	小川 友菜	千葉県	ジュネス
17	ホワイトン謙心	ホワイトン夏奈実	神奈川県	D.T.S.ジュニア相模原



東京オープンで行われた表彰式

ジュニア・ユースアスリートクラブ／ スプリングキャンプ

3月26日(日)、東京都江東区有明にあるJDSFダンストレーニングセンター(DTC)にて、ジュニア・ユースアスリートクラブのスプリングキャンプが開催されました。

いつもは全国各地でそれぞれ活動している選手たちのために、技術の向上だけでなく、会員同士の親睦を図り、当クラブの目的でもあるアスリート選手としての立派な行動ができるよう、毎年開催をしております。今回は保育園年中から高校2年までの幅広い選手たちが全国から60人ほど集まりました。午前中は三笠宮杯チャンピオンの小嶋みなと・盛田めぐみ組によるスタンダードの講習会。具体的なトレーニング方法や、ホールドポジションについて、細かくわかりやすく熱心に指導してもらいました。最後は、ワルツと子供たちの

アンコールに応じてタンゴの模範演技を披露しました。

午後はブルボンDST所属の濱田琉衣・稲村百香組によるサンバ、渡辺安登・石垣真衣組によるジャイブ、藤井創太・吉川あみ組によるチャチャチャのワークショップが行われました。新たにブルボンDSTに所属予定の五月女光政・五月女睿佳組も加わり、4組でお互いにフォローしながら、ベーシックルーティンとバリエーションルーティンをみんなで踊って披露しました。

選手たちには本気で踊ってもらい、それを参加者たちは一生懸命真似をすることによって、本物のダンスに触れて体験する、若い選手たちならではのワークショップでした。

最後にはブルボンDSTの選手も加わりサンバ、チャチャチャのミキシングが行われました。



挨拶を述べる溝口部長



全員集合



小嶋組による講習会

第18回 青森県ダンススポーツ大会

第7回 北海道・東北交流サークル対抗戦 in 青森

2017年3月26日(日)／青森市「はまなす会館」

3月下旬とは言え、青森はまだ冬。青森の市街地にもかなりの雪が残っており、津軽海峡を渡る風は冷たい潮風でした。市内から車で約20分、彼方には八甲田の山脈が望まれる「はまなす会館」は、暖房も設備されていましたが、既に選手の熱気に溢れていました。

片桐圭司青森県DS連盟会長が、開会式の挨拶で「本日はJDSF本部・広報の取材が入り、大会の記事が次号、広報誌「ダンスダンスダンス」に掲載されます」と話すと、選手の間には「ほうっ」と頷いた声が聞こえ、選手の緊張感と期待が高まりました。クラス別の競技に加え、この大会恒例の北海道・東北交流サークル対抗戦も7回を迎える開催です。

競技が進むにつれ選手はヒートアップ！ フロアーサイド

のお客様席には出場選手たちが座ることもなく、冷える体育館でしたが、多くのお客様が熱心に観戦され、最後まで一曲ごとに温かな拍手と声援が館内に心地よく響きました。



開会式の挨拶をする
片桐圭司青森県会長



朝から司会で奮闘し、午後から選手として出場の柴田欽一さん
さんとご主人の柴田欽一さん



大会成功のために尽力した
石岡均大会副会長と奥様の明子さん

DSCJ B級戦 スタンダード



表彰式



優勝

小沢 秀司・晴山美津子 組(青森県)



準優勝

齋藤 善則・齋藤 牧子 組(岩手県)



第3位

林 隆之介・林 文子 組(青森県)

- 第4位 鈴木 長嗣・尾留川圭子 組(秋田県)
第5位 真柄 周二・青木 幸子 組(北海道)
第6位 酒谷 實・酒谷 典子 組(北海道)



優勝

長谷川好昭・佐藤 栄子 組(福島県)



準優勝

熊谷 真一・赤澤 和子 組(岩手県)



第3位

清瀬 猛・清瀬 畔奈 組(栃木県)

DSCJ B級戦 ラテン

- 第4位 仁和 政志・馬場 悦子 組(青森県)
第5位 木村 拓哉・大空 星夢 組(青森県)
第6位 石川 明博・石川 里美 組(岩手県)



表彰式

シニアⅡスタンダード

- 準優勝 井上 芳輝・鈴木 直美 組(青森県)
第3位 及川 久隆・及川 加代 組(岩手県)
第4位 木下 敦史・工藤みつ子 組(青森県)
第5位 石岡 均・石岡 明子 組(青森県)
第6位 中屋敷秀雄・川下三重子 組(青森県)
山下 和男・山下千佳子 組(岩手県)



優勝

シニアⅢラテン

- 優勝 長谷川好昭・佐藤 栄子 組(福島県)
準優勝 仁和 政志・馬場 悦子 組(青森県)
第3位 藤村 誠紘・斎藤貴美絵 組(岩手県)
第4位 羽柴 忠・木野 政枝 組(青森県)



表彰式

シニアⅢスタンダード

- 優勝 井上 芳輝・鈴木 直美 組(青森県)
準優勝 齋藤 善則・齋藤 牧子 組(岩手県)
第3位 鈴木 長嗣・尾留川圭子 組(秋田県)
第4位 長谷川好昭・佐藤 栄子 組(福島県)
第5位 山岡 光廣・山岡 光代 組(秋田県)
第6位 藤村 誠紘・斎藤貴美絵 組(岩手県)
第7位 木附沢茂美・木附沢とみ子 組(岩手県)



表彰式



表彰式

シニアⅣスタンダード

優勝 長谷川好昭・佐藤 栄子組(福島県)
準優勝 林 隆之介・林 文子組(青森県)
第3位 山岡 光廣・山岡 光代組(秋田県)
第4位 藤村 誠紘・斎藤貴美絵組(岩手県)
第5位 山口 正樹・山口 収子組(青森県)
第6位 中嶋 鉄治・中嶋 京子組(青森県)



表彰式

ジュニア&ユース戦 スタンダード&ラテン

優勝



野場 大輝・小倉 由愛組(青森県)

木村 隆寛・岩泉 有沙組(青森県)

準優勝



シニアⅤスタンダード

優勝 原木 進・原木ルリ子組(青森県)
準優勝 柴田 欽一・柴田 百代組(青森県)
第3位 升谷 亮・吉田 ミヨ組(岩手県)



表彰式

DSCJ C級戦 スタンダード1



表彰式



優勝

杉山 勝巳・貝塚 陽子組(青森県)

DSCJ C級戦 スタンダード2



表彰式



優勝

真柄 周二・青木 幸子組(北海道)

DSCJ C級戦 ラテン 表彰式



DSCJ D級戦 スタンダード1 表彰式



DSCJ D級戦 スタンダード2 表彰式



DSCJ D級戦 ラテン 表彰式



DSCJ ノービス戦 スタンダード 表彰式



キラ星みつけた!

木村隆寛(8歳)・岩泉有沙(8歳)組(青森県)



二人共、ダンスを始めたきっかけはおばちゃんが練習しているサークルを見学して、踊ってみたいと始めました。カップルを組んで2年になります。練習は週1回で、教室の先生にレッスンを受けています。

隆寛ちゃんはクイックが好きですが、有沙ちゃんはサンバが好きで、「学校のお勉強よりダンスの練習が好きです」と、正直です。「これからもダンスを続けていきます」と静かな闘志を秘め、話してくれました。頑張れ! キラ星!

北海道・東北交流サークル対抗戦

優勝 青森ファイブステップ 直虎チーム
準優勝 イーハートフ花巻
第3位 青森ファイブステップ ピコ太郎チーム
第4位 青森ファイブステップ トランプチーム



表彰式

名城大学舞踏研究会 創立50周年記念パーティー

～愛知淑徳大学・短期大学 社交ダンス部の皆様にも感謝を込めて～

2017年3月12日(日) / ANAクラウンプラザホテル グランコート名古屋

昭和41年の設立以来、10年毎に大きな記念パーティーをホテルで開催して参りましたが、本年度でついに50周年、5回目を迎えました。40周年に続き実行委員長を務める野田千晶(2003年度卒)他、合わせて12名の実行委員により盛大に開催されました。

OBOG・現役学生を合わせ、約150名(内、学生26名)が、久しぶりに会う、先輩・後輩・同期生と旧交を温めました。十年～数十年ぶりの再会という方も少なくありませんでした。

パーティーは、初代主将・祖父江力三(1969年度卒)の挨拶から始まり、来賓にお迎えした元顧問・瀧佳弘先生(長年顧問を務めて頂きました)による祝辞、OB会長の鈴木智典(1982年度卒)による乾杯の音頭で始まりました。そのすぐ後に上映された“思い出のスライドショー”では、創立当初から現在に至るまでの写真が音楽と共に次々と映し出され、それをみな食い入るように見入りま

した。学ランとスカート丈の短いドレスの白黒写真から始まり、徐々に衣装も変わっていき、写真も鮮明な色に。部の歴史を感じると共に、どの時代でも、皆同じように青春を駆け抜けてきたことを感じさせました。ダンス写真以外にも、合宿・打ち上げ・過去の創立記念パーティー、歴代の全日本戦優勝者の写真などもあり、笑いあり、拍手、歓声ありのスライドショーで大いに盛り上がりしました。

ダンスタイムは、名城大学のOB関係者が主催する18名のビッグバンドによる生演奏で、パーティーがとても華やぎました。ダンスから離れた生活を送っている方も多く、最初は「もう全然踊れないから…」と遠慮していた方々も、誘われてだんだんダンスフロアへ。次第に踊る人数も増えていきました。フランスから空輸した美味しいシャンパン(とあるOBの方が差し入れて下さいました)を飲んだり、お料理を食べたりしながら話に花を咲

学生によるデモンストレーション



苑田・伊藤組



主将の林・吉戸組



森・佐野組



学生デモ出演者



名城大学舞踏研究会OBORG・学生全員集合!



OBOGの
青木康典・知子組
◀セグエ
華麗なワルツも披露▼





祖父江 力三
初代主将 挨拶



左から、青木康典先生、野田千晶(実行委員長)、安藤貴洋(撮影担当)、青木知子先生、平井絢子(実行委員)



元顧問・瀧佳宏先生の祝辞



鈴木智典OB会長の乾杯



名城節

かせる方々、懐かしい面々と記念写真を撮る方々もいて、ダンスフロアも、その周りも、とても賑わっていました。

また、現役3年生ホープ3組のエネルギー溢れるデモンストレーションに加え、元全日本セグエチャンピオン・元統一全日本ショーダンスチャンピオンであるOBOGの青木康典・知子組により披露されたデモンストレーションは圧巻でした。康典先生からは「学生の頃からずっと知子と組んでいる。ダンスに出会い、知子と出会い、この素晴らしい仕事に就くことができたのは、この名城舞研があったから。」「現役生が結果を出してくれるのが一番だと思っている。学生のみんな、頑張っしてほしい。」また、知子先生より、「今までのデモンストレーションの中で一番楽しかった。」との言葉を頂きました。

最後は全員で巨大な円陣を組んで左右にゆれながらの“名城節”。“名城節”は、学生の春季合宿と夏季合宿最終日に、必ず全員で円陣を組んで歌う唄ですが、世代を

超えて皆で1つの唄を歌うというのは、本当に感慨深いものがあります。仲間意識と共に、今日この日まで歴史が受け継がれてきた事を深く感じます。

3時間のパーティーは、興奮さめやらぬまま終会を迎えました。

このようにたくさんのOBOGが一同に集まったのは、世代ばらばらの12名の実行委員が早くから準備を始め、何とか人づてに連絡を取ったりして、たくさん声掛けしてきたこと、また協力してくれたたくさんのOB・OG・学生の方々がいたからに他なりません。本当にありがとうございました。

今回は60周年。今後10年間で新しいメンバーをたくさん迎え、名城大学舞踏研究会らしく楽しくて温かい、素晴らしい記念パーティーがまた開催できる事を願って…。

(愛知県ダンススポーツ連盟 草間 隆志)

Slim & Stretch

大反響

スリム&ストレッチシャツ
全4色 ¥9,900⁺税



- ①スリムタイプでボディラインを美しくみせます!
- ②ストレッチ性抜群で激しい動きもスムーズに!
- ③上質素材で肌触りも最高!
- ④丸洗い&ノーアイロンでケアが簡単!
- ⑤4色展開でパーティーやタウン着としてもオススメ!

素 材:ポリエステル100%
カラー:黒・白・パープル・グレー

サイズ	S	M	L	LL
首回り	37	39	41	43
袖丈	78	82	84	86



東京・秋葉原 東京トリキン(株)

エンビのトリキン

TEL.03-3866-4854 FAX.03-3866-4033

〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-4-1 <http://www.torikin21.com>
営業時間/月~金 10:00~18:30 土日祝 10:00~17:30

今宵は踊り明かそう！ 茨城県ダンススポーツ連盟 35周年記念式典&ダンスパーティ

2017年2月26日(日)

ひたちなか市ホテル クリスタルパレス

茨城県ダンススポーツ連盟は、1981年11月1日、茨城県アマチュアダンス協会(初代会長小林孖氏)として147団体2873名でスタートしました。そして今年、35周年の記念式典が茨城県北部に位置するホテル・クリスタルパレスにおいて盛大に開催されました。

広いフロアと豪華なシャンデリアの下、300名の会員の皆様のためにたっぷりのダンスタイムが用意され、すみれダンススポーツクラブのスタンダードのフォーメーションの披露から式典は始まりました。

吉川英司副会長が「本連盟の今後の発展を期して、記念式典を開催します」と宣言。永井彰会長は「初代会長の小林孖氏は、“ダンスはスポーツじゃないとダメなんだよ!”と言われ、我が国最初の県体協加盟を果たしました。全国で42都道府県が既に体協に加盟しており5県は今年もしくは来年には加盟見込みで、国体正式競技も時間の問題。2019年茨城国体はデモンストレーション競技として既に実施が決定している。2018年ユースオリンピック(アルゼンチン)ではブレイクダンスが正式種目に決まり新しい時代の幕開けです。ダンススポーツが多くの方々に愛され、楽しんでいたように!本日はまことにありがとうございます」と挨拶。ひたちなか市の本間源基市長は「国体、オリンピックを目指す団体として大変頼もしい組織。健康寿命の延伸に貢献されている。まずは健康第一、ダンススポーツは人と人との繋がりを持つ意味でも最適のスポーツ。皆様方の益々のご健勝とご活躍を!」と挨拶されました。茨城県体育協会の市村仁専務理事は「体協でなければスポーツではない。茨城国体に向けてあと2年、頑張っていきたい。ダンススポーツの益々の発展を祈念申し上げる」と挨拶されました。

海野透茨城県議会議員は「フランスのベルサイユ宮殿の

ようなこのシャンデリアの下で優雅なダンスを踊る。人には夢がある。趣味の世界で心の充実さを感じるにはダンスが一番。国体に、オリンピックに、あでやかな華を咲かせて欲しい」そして、磯崎達也茨城県議会議員は「オリンピック種目になると確信している。ダンスは若さを保つ秘訣です」と挨拶されました。続いて、公益社団法人日本ダンススポーツ連盟(JDSF)の山田淳専務理事は「本部として強い組織と人材でJDSFの発展に中心的役割も果されている35年の県連盟のご尽力に感謝する。ユースオリンピックでは蓋を開けたらブレイクダンスとは少し意外でしたが、日本は金メダルが十分期待できる世界のトップレベルにある。JDSFはトップの踊りだけでなく、日常の生活シーンの中にもダンスを普及させたい」と挨拶しました。

記念撮影の後、田中秀朗名誉会長の乾杯の発声によりディナータイムとなりました。ディナーの後、たっぷりのダンスタイム。そして、八谷和樹・皆川円組によるスペシャルデモンストレーションを、全日本10ダンスチャンピオンらしく全10曲披露しました。

ちょうど、水戸の偕楽園では梅まつりが開かれていて、100種類、3000本の梅が8分咲き、また名物のアンコウ鍋、紅はるかの干し芋も美味しい時期でした。

ご来賓及び役員の皆さん



永井彰会長



吉川英司副会長



乾杯の田中秀朗名誉会長
(バレンタインデーに元気に
85歳になりました)



ご来賓



本間源基ひたちなか市市長



市村仁(公財)茨城県
体育協会専務理事



海野透茨城県議会議員



磯崎達也茨城県議会議員



山田淳JDSF専務理事



乾杯のビールは勿論、
地元茨城県の取手つくり

ダンスタイムを楽しむ皆さん



すみれダンススポーツクラブのフォーメーション



八谷和樹・皆川円組によるスペシャルデモ



茨城県中央区DS連盟役員一同



茨城県DS連盟役員一同

僕はお母さんのお腹にいる時から踊っていました。176cmと165cmの大型カップル。高校生と大学生の若きエース、世界のファイナリストを目指して、喧嘩はしないけれど、口論は毎日しながら練習に励んでいます。

誰もが世界一になれるわけでもない
誰もが日本代表になれるわけでもない
それでも人はスポーツをする
昨日の自分に追い越されないために
明日の自分を追い越すために
スポーツに鍛えられた人生は
勝っても負けても きっと負けない

スポーツは、自分を超越するためにある。

スポーツくじ



スポーツくじ (toto・BIG) の収益は、日本のスポーツを
育てるために使われています。

www.toto-dream.com www.toto-growing.com ① 19歳未満の方の購入又は譲り受けは法律で禁じられています。払戻金も受け取れません。運営・販売：独立行政法人日本スポーツ振興センター

ダンス・ダンス・ダンス 第83号 (SPRING)

平成29年5月発行

■ 発行人／山田 淳 (公益社団法人日本ダンススポーツ連盟専務理事)

■ 編集長／神宮周二 (公益社団法人日本ダンススポーツ連盟広報部)

■ 企画／公益社団法人日本ダンススポーツ連盟広報部

■ 発行所／公益社団法人日本ダンススポーツ連盟

〒135-0063 東京都江東区有明3-4-2 有明センタービル1階 TEL.03-6457-1850 FAX.03-6457-1857
<http://www.jdsf.or.jp>

©本誌の記事・写真の無断転載を禁じます。